

## 平成27年度 事業報告

### 1. 宿泊施設の利用状況

平成27年度における全施設の延べ宿泊利用者数は、138,098人となり、前年度の利用者との比較では12,112人の減少となった。

施設ごとに季節や地域の特徴を生かした集客活動に取り組み、施設客室定員に対する利用率は62%となった。

船員及び家族の利用者数は18,501人、海事関係者は39,234人で船員・海事関係者（合計57,735人）が全利用者数に占める割合は41.8%となった。

施設整備の支援団体である公益財団法人日本船員福利厚生基金財団の船員宿泊割引制度の利用者数は7,712人であった。

### 2. 各施設の運営状況

平成27年度は、引き続き各施設とも船員及び家族と海事関係者の利用促進はもとより、青少年スポーツ団体、ボランティア団体を含め一般の利用者にも積極的な営業活動を行った。

- ① 船員及び家族と海事関係者の利用促進のため、海運・水産・港湾関係会社・団体への営業活動に努めるとともに、社内報や親睦会誌等広報誌での周知に努めた。
- ② 船員及び家族と海事関係者の福利厚生施設としての役割はもとより、一般の方々に海や船に関心を持って頂くための施設でもあるとの認識のもと、国土交通省、市港湾局、海運関係団体、労働団体等と連携し、港湾や船の写真展の展示会場として施設の一部を提供するとともに、宿泊する親子が海・船・船員に興味を抱くパンフレット、船のペーパークラフト等の配布を行った。
- ③ 施設周辺地域の法人や自治体等の職員会等の団体利用拡大のため、周辺企業、観光、コンベンション関係団体、旅行業者、学校法人、スポーツ団体等の宿泊、福利厚生利用等提案を含めた営業活動に努めた。
- ④ 施設地域の祭事、行事、イベント等への協賛、参加等により、行事参加者をはじめ近隣住民に対して施設の知名度向上と利用促進に努めた。
- ⑤ インターネット利用者の増加に伴い宿泊予約サイト業者との提携、ホームページを充実させるため、ホテル客室等の施設、レストランメニュー、シーメンズクラブからの風景、夜景、赤レンガ倉庫側の風景、ランドマーク・観覧車側の風景等の写真を掲載するなどリニューアルし、魅力ある演出により施設宣伝に努めた。

### 3. 施設の整備改善等

施設の改善については、利用者のニーズに応じた補修、改修等に取り組み、予算に沿った計画的な修繕費等の支出に努めた。

平成27年度における営繕関係費用の総額は、30,439千円となった。

#### 4. 横浜市との公有財産貸付契約

横浜海員会館及びナビオス横浜は横浜市との共有施設であることから施設の使用については、横浜市と公有財産貸付契約を締結している。

平成 28 年 3 月 31 日に契約期間が到来するため、以降の貸付期間等について横浜市と協議を行った。

その結果、貸付期間は平成 28 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日での 3 年間となった。

#### 5. 釧路、戸畑海員会館の閉館

(1) 平成 25 年 6 月 24 日開催の理事会において、平成 23 年、24 年度の 2 年連続して赤字基調であった釧路及び戸畑海員会館の 2 館について、赤字払拭が不可能な会館と評価され閉館やむなしの判断に至り、平成 25 年度以降 3 年以内を目途に閉館することが決定されていた。

(2) その後、平成 27 年 6 月 16 日開催の理事会において釧路、戸畑海員会館の閉館と売却予定日が 9 月 30 日と決定した。

(3) 戸畑海員会館は、平成 27 年 9 月 30 日に閉館し、建物及び土地を売却した。

(4) 釧路海員会館は、平成 27 年 9 月 30 日に閉館し、釧路市から土地を購入し建物と一体にして平成 28 年 12 月 21 日に売却した。